

3 「三重県スポーツ推進計画（仮称）」中間案について

1 計画の位置づけについて

本県では、これまでスポーツ振興法第4条第3項に基づき、第1次から第7次までの「三重県スポーツ振興計画」を策定し、スポーツ振興に取り組んできました。

「三重県スポーツ推進計画（仮称）」（以下、「本計画」といいます。）は、「三重県スポーツ推進条例案」（以下、「条例」といいます。）のめざす姿の実現に向けて、「第7次三重県スポーツ振興計画」等に基づく取組を検証するとともに、本県スポーツを取り巻く状況の変化に対応し、新たな計画を策定するものです。

本計画では、県が行う具体的な取組を、推進施策として整理しました。推進施策は、条例に規定する「スポーツの推進に関する基本となる施策」に沿って整理するとともに、本県スポーツ推進のまたとない好機である平成33年の国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会等の大規模大会に向けて「大規模大会の開催を契機としたスポーツの推進」を整理し、7本の推進施策としました。（資料1）

2 推進施策の取組

本計画では、県民がスポーツに触れることを通じてスポーツを「する人」、「みる人」、「支える人」が拡がるとともに、本県選手等の活躍により県民に夢や感動が生まれ、「県民の力を結集した元気なみえ」の実現をめざしていくこととします。

めざす姿の実現に向けて、それぞれの推進施策が密接に関係しながら取組を進めていくこととし、「好循環」の創出を図っていきます。

また、推進施策では、県民の皆さんに成果をあらわす指標として、数値目標を設定することとします。（資料2）

3 推進施策の記載内容について

推進施策では、取組の方向性を端的に記載した「推進施策の基本的な取組方向」、計画策定にあたっての「現状と課題」、「取組内容」、及び「数値目標」について記載をしています。「取組内容」については、取組の方向性を記載し、「数値目標」については、目標項目、目標値の選定理由等を記載しています。

最終案に向けて、総務地域連携常任委員会でのご意見や三重県スポーツ推進審議会での審議、予算議論等をふまえて、具体的な取組内容や数値目標の数値について記載をしていきたいと考えています。（別冊2）

4 今後のスケジュール

平成27年2月	第4回三重県スポーツ推進審議会で審議（最終案）
～	パブリックコメント、市町をはじめ関係団体から意見聴取
3月	総務地域連携常任委員会において報告

「第7次三重県スポーツ振興計画」及び「三重県スポーツ推進計画(仮称)」について

第7次三重県スポーツ振興計画
(平成23年度～平成26年度)

第1章 基本的事項

- 1 計画の趣旨
- 2 計画の期間
- 3 計画の全体構成

第2章 総論

- 1 スポーツの意義
 - (1)個人としての意義
 - (2)社会としての意義
- 2 スポーツを取り巻く環境
 - (1)人口減少、少子高齢化の進行
 - (2)国・地方公共団体の動き
 - (3)子どもたちの体力・運動能力
 - (4)地域スポーツの推進
 - (5)競技スポーツの充実
 - (6)大規模大会の開催
 - (7)県営スポーツ施設の整備運営
- 3 「みえのスポーツ」がめざす姿【基本理念】
 - (1)基本的方向
 - (2)基本施策

第3章 各論

- 基本施策 1 子どもたちの元気づくり <子どもたちの体力の向上>
 - (1)子どもたち自らが体を動かすことに意欲的になる授業づくり
 - (2)運動部活動の充実
- 基本施策 2 地域の活力づくり <地域スポーツの推進>
 - (1)総合型地域スポーツクラブの育成支援
 - (2)県民参加のスポーツイベントの充実
 - (3)女性のスポーツ参加
 - (4)高齢者のスポーツ
 - (5)障がい者のスポーツ
 - (6)スポーツを通じた地域の活性化
- 基本施策 3 県民の夢づくり <競技力の向上、大規模大会の招致>
 - (1)競技力の向上
 - (2)スポーツ医・科学の活用
 - (3)国際大会や全国大会で活躍した選手などの顕彰
 - (4)大規模大会の開催・招致
- 基本施策 4 元気の基礎づくり <スポーツ基盤の整備>
 - (1)スポーツ施設の整備運営
 - (2)スポーツ情報提供の充実
 - (3)スポーツにおける危機管理の充実

第4章 計画の実現に向けて

- 1 学校・家庭・地域との連携・協働
 - (1)学校への期待
 - (2)家庭への期待
 - (3)地域への期待
- 2 市町との連携・協働
- 3 各種スポーツ団体との連携・協働
 - (1)財団法人 三重県体育協会
 - (2)社団法人 三重県レクリエーション協会
 - (3)三重県体育指導員協議会
- 4 各種スポーツ団体における透明性や公平・公正性の確保
- 5 適切な進行管理

本県スポーツを取り巻く状況の変化に対応し、第1次から第7次までの「スポーツ振興計画」に基づく取組をふまえて、新たな計画の策定

○スポーツ基本法の施行

○三重県では「みえ県民力ビジョン・行動計画」でスポーツの推進を政策の一つに位置づけ

○人口減少、少子高齢化の進展

○スポーツは、県民の幸福実感の向上に寄与する

○子どもの体力向上

○平成30年の全国高等学校総合体育大会、平成33年の国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会等の大規模大会の開催

○平成32年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催

○「三重県スポーツ推進条例(仮称)」の推進施策とあわせて整理して位置づけ
・「障がい者スポーツの推進」
・「スポーツを通じた地域の活性化」
を推進施策として位置づけ

○本県スポーツ推進のまたとない好機である平成33年の国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会等の大規模大会に向けて「大規模大会の開催を契機としたスポーツの推進」を推進施策として位置づけ

○「三重県スポーツ振興計画」に基づく取組の成果および条例のめざす姿の実現にむけて、次の取組は、各推進施策の中で取組を進める。
・スポーツ情報の発信・提供
・公正・公平なスポーツの推進
・スポーツ障害の予防
※具体的な取組内容は、最終案で記述します。

三重県スポーツ推進条例案の提出

三重県スポーツ推進計画(仮称)
(平成27年度～平成30年度)

第1章 計画の策定趣旨

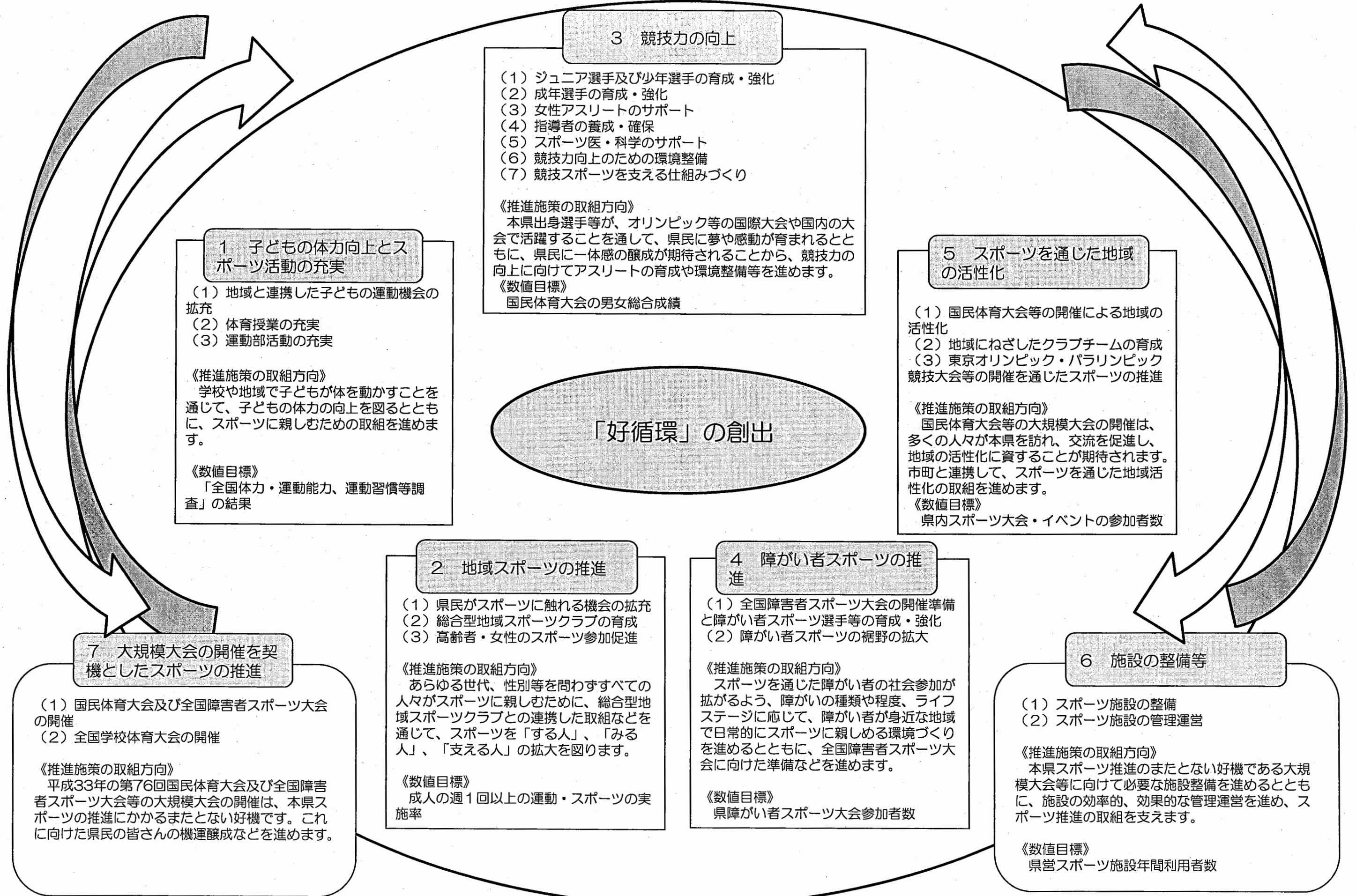
- 1 計画の策定にあたって
 - (1)三重県のスポーツ推進の取組
 - (2)計画の位置づけについて
- 2 計画策定にあたっての現状と課題
 - (1)人口減少社会の到来(少子化、高齢化)
 - (2)県民の幸福実感の向上(みえ県民意識調査から)
 - (3)子どもの体力低下
 - (4)大規模大会開催の好機
 - (5)本県選手等の活躍
 - (6)スポーツに参画する環境整備
- 3 計画のめざす姿について
- 4 計画期間について

第2章 推進施策の取組

- 推進施策 1 子ども体力向上スポーツ活動の充実
 - (1)地域と連携した子どもの運動機会の拡充
 - (2)体育授業の充実
 - (3)運動部活動の充実
- 推進施策 2 地域スポーツの推進
 - (1)県民の皆さんがスポーツに触れる機会の拡充
 - (2)総合型地域スポーツクラブの育成
 - (3)高齢者・女性のスポーツ参加促進
- 推進施策 3 競技力の向上
 - (1)ジュニア選手及び少年選手の育成・強化
 - (2)成年選手の育成・強化
 - (3)女性アスリートのサポート
 - (4)指導者の養成・確保
 - (5)競技力向上のための環境整備
 - (6)スポーツ医・科学のサポート
 - (7)競技スポーツを支える仕組みづくり
- 推進施策 4 障がい者スポーツの推進
 - (1)全国障害者スポーツ大会の開催準備と障がい者スポーツ選手等の育成・強化
 - (2)障がい者スポーツの裾野の拡大
- 推進施策 5 スポーツを通じた地域の活性化
 - (1)国民体育大会等の開催による地域の活性化
 - (2)地域にねざしたクラブチームの育成
 - (3)東京オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催を通じたスポーツの推進
- 推進施策 6 施設の整備等
 - (1)スポーツ施設の整備
 - (2)スポーツ施設の管理運営
- 推進施策 7 大規模大会の開催を契機としたスポーツの推進
 - (1)国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会の開催
 - (2)全国学校体育大会の開催

第3章 計画の実現に向けて

- 1 計画の進行管理
- 2 各種スポーツ団体との連携
 - (1)公益財団法人 三重県体育協会
 - (2)一般社団法人 三重県レクリエーション協会
 - (3)三重県スポーツ推進委員協議会
- 3 顕彰の実施
 - (1)地域スポーツの推進にかかる顕彰
 - (2)競技スポーツにかかる顕彰



4 競技力向上の取組について

1 現状

競技力向上対策の取組については、平成 25 年 5 月に「三重県競技力向上対策本部」を設置し、平成 33 年の本県で開催する国民体育大会での天皇杯・皇后杯の獲得をめざすとともに、大会終了後も安定した競技力を確保するため、(公財)三重県体育協会など関係団体と連携し、ジュニア・少年選手の発掘・育成・強化、成年選手の育成・強化の取組を進めております。

本年度は、新たに中学校運動部の強化指定の実施や高等学校運動部の強化指定の拡充をはじめ、スポーツ指導員の配置や特別コーチの派遣等、競技力向上の取組を進めてきました。

このような中、本年度の全国高等学校体育大会の入賞件数は、昨年度の 34 件から 50 件と増加しました。また、本年長崎県で開催された第 69 回国民体育大会(長崎がんばらんば国体 2014)においては、次のような結果となりました。

本年の国体順位は、目標の 20 位台を達成できなかったものの、全国中学校体育大会、全国高等学校総合体育大会、国民体育大会の入賞件数(ベスト 8 以上)の目標を 116 件に設定していたところ、その合計が 116 件と目標を達成することができました。

(平成 26 年長崎国体)

		平成 24 年 (岐阜)	平成 25 年 (東京)	平成 26 年 (長崎)
天皇杯	順位	38 位	41 位	32 位
	競技得点	792.5 点	745.0 点	834.0 点
皇后杯	順位	45 位	39 位	38 位
	競技得点	330.0 点	383.5 点	438.0 点

特に、少年女子における団体種目の活躍がみられました。

- ・ボウリング(優勝)
- ・山岳リード(優勝)※昨年に引き続き 2 連覇
- ・山岳ボルダリング(2 位)
- ・ハンドボール(2 位)
- ・ソフトテニス(2 位)

2 課題

本年度の競技力向上の取組の中でも、特に、本年の国体結果から、次のような課題がみられました。

- (1) 団体種目における入賞件数が少ない。
- (2) 成年女子選手の入賞件数が少ない。
- (3) 毎年安定した競技実績を有する競技と、過去5年間で一度も入賞ができていない競技との二極化がみられた。

3 今後の取組

今後の取組については、これらの課題を克服し、平成27年の和歌山国体で目標としている天皇杯順位20位台の達成と男女総合得点で1,000点の獲得をめざすとともに、平成30年に本県を中心に開催される全国高等学校総合体育大会、平成33年の国体に向けて競技力向上の取組を進めていきます。

- (1) 国体における成年種目で高得点が期待できる団体種目（ラグビーフットボール、軟式野球、サッカーなど）が、東海ブロックを突破し、本大会で活躍するため、競技団体に対しきめ細やかに情報を収集し、選抜チームの練習時間や場所の確保など、個々の競技団体の課題を洗い出し、団体種目の強化に取り組みます。
- (2) 女子選手の競技力向上対策の充実を図るため、女性指導者に特化した研修会を実施し指導者の資質向上を図るとともに、有力な女子選手の育成・確保に取り組みます。
- (3) 成年選手の育成・強化を図るため、先催県や他県の取組を参考にしながら、新たなチーム結成やトップアスリートが県内に定着できるよう受入先となる企業開拓等のしくみづくりに取り組みます。
- (4) 本県における競技スポーツの将来を担うジュニア・少年選手の育成・強化を図るため、中学校や高等学校運動部の強化指定事業等の取組を進めてまいります。

第69回国民体育大会総合成績

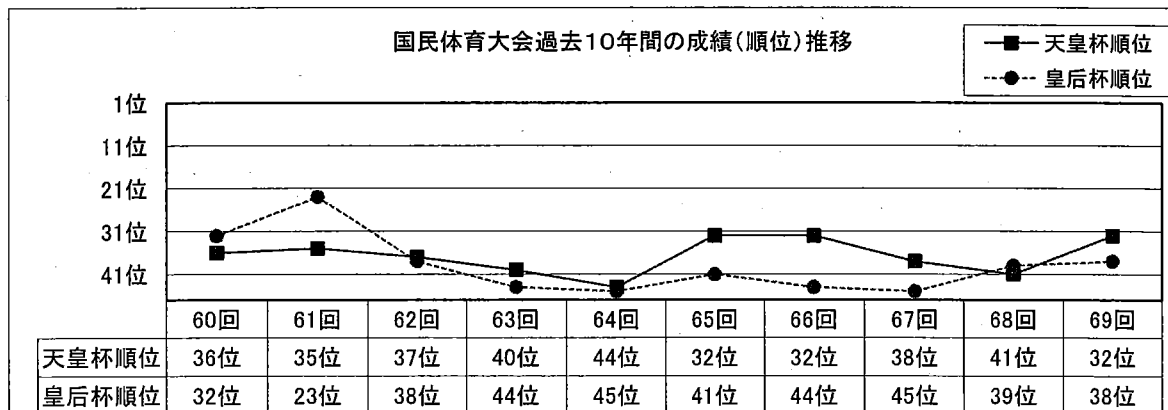
男女総合成績競技別一覧

競技順位	競 技 名	競技得点	参加点	合 計
1	テニ ス	42.0	10.0	52.0
2	山 岳	63.0	10.0	73.0
5	レス リング	39.5	10.0	49.5
5	ウエイトリフティング	61.0	10.0	71.0
6	ソフトテニス	35.0	10.0	45.0
8	ハンドボール	35.0	10.0	45.0
12	自 転 車 競 技	15.0	10.0	25.0
13	ボウ リング	24.0	10.0	34.0
15	体 操	15.0	10.0	25.0
16	陸 上 競 技	45.0	10.0	55.0
22	水 泳	28.5	10.0	38.5
23	馬 術	14.0	10.0	24.0
27	ボ ー ト	6.0	10.0	16.0
28	弓 道	9.0	10.0	19.0
38	ライフル射撃	2.0	10.0	12.0
小計	15競技	434.0	150.0	584.0
	他 25競技		250.0	250.0
	40競技	434.0	400.0	834.0

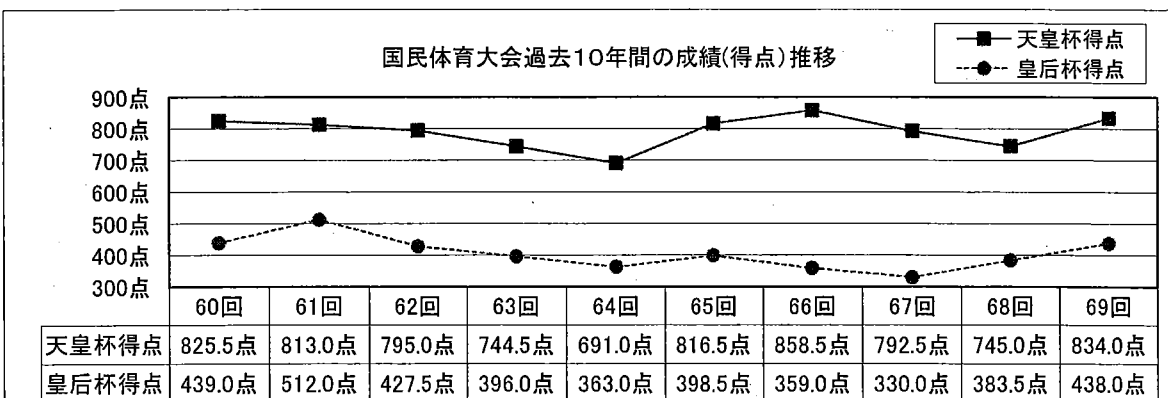
女子総合成績競技別一覧

競技順位	競 技 名	競技得点	参加点	合 計
2	山 岳	45.0	10.0	55.0
4	ハンドボール	35.0	10.0	45.0
4	ソフトテニス	35.0	10.0	45.0
10	ボウ リング	24.0	10.0	34.0
14	馬 術	6.0	10.0	16.0
28	陸 上 競 技	10.0	10.0	20.0
32	水 泳	3.0	10.0	13.0
小計	7競技	158.0	70.0	228.0
	他 21 競技		210.0	210.0
	28競技	158.0	280.0	438.0

国民体育大会過去10年間の成績(順位)推移



国民体育大会過去10年間の成績(得点)推移



国民体育大会における天皇杯順位・入賞数・競技得点の推移

【総合順位】

回	65回	66回	67回	68回	69回
天皇杯(男女総合成績)	32	32	38	41	32
皇后杯(女子総合成績)	41	44	45	39	38

【入賞数】

回		65回	66回	67回	68回	69回
団体	成年男子	7	10	6	6	3
	成年女子	1	0	2	1	0
	少年男子	2	4	3	4	2
	少年女子	3	3	2	3	5
	小計	13	17	13	14	10
個人	成年男子	13	15	11	14	19
	成年女子	4	3	3	4	3
	少年男子	13	23	22	15	21
	少年女子	5	4	0	4	2
	小計	35	45	36	37	45
計		48	62	49	51	55

【競技得点】

回		65回	66回	67回	68回	69回
団体	成年男子	155.5	157.0	140.0	59.5	51.0
	成年女子	40.0	0.0	15.0	3.0	0.0
	少年男子	36.0	84.0	45.0	47.0	33.0
	少年女子	54.0	50.5	25.0	65.0	139.0
	小計	285.5	291.5	225.0	174.5	223.0
個人	成年男子	50.0	41.0	58.0	66.5	83.5
	成年女子	12.5	14.0	10.0	20.0	10.0
	少年男子	56.5	107.5	109.5	78.5	108.5
	少年女子	22.0	14.5	0.0	15.5	9.0
	小計	141.0	177.0	177.5	180.5	211.0
計(参加点除く)		426.5	468.5	402.5	355.0	434.0
参加点含む総計		816.5	858.5	792.5	745.0	834.0

5 「三重交通G スポーツの杜 伊勢」陸上競技場の改修について

1 現状

「三重交通G スポーツの杜 伊勢」陸上競技場（以下、「競技場」という。）の改修については、「三重県営総合競技場陸上競技場整備事業基本計画」に基づき、本年度から測量、設計等に着手し、計画的な整備に取り組んでいるところです。

また、国の社会資本整備総合交付金の活用を図るための「五十鈴公園」の管理移管についても、伊勢市と引き続き協議を続けているところであり、市においても12月市議会定例会に伊勢市都市公園条例の改正案が提出されています。

2 課題

(1) 改修工事について

改修にあたっては、管理移管に際して市から提供のあった球技広場における駐車場の追加整備も合わせて行って行く必要があります。

(2) 公園の管理移管について

移管によって、競技場は県営の都市公園施設となることから、三重県営総合競技場条例の規定を県土整備部所管の三重県都市公園条例に整理・統合していく必要があります。

また、現在、指定管理者に管理させている競技場については、条例の整理・統合に伴い、管理の根拠を失うこととなるため、整理後の条例における対応が必要となっています。

3 今後の取組

(1) 改修工事については、設計の完了した補助競技場及び投てき場の設置工事について、年度内に一部工事に着手できるよう発注に係る作業を進めます。

また、県営体育館東側の球技広場における駐車場整備については、今議会に新たに補正予算（債務負担行為）を提出し、対応を進めてまいります。

(2) 公園の管理移管につきましては、本議会において、県土整備部が所管する三重県都市公園条例に、競技場に係る規定を盛り込んだ、条例改正案を提出しています。

この改正に伴い、三重県営総合競技場条例は廃止することとしています。

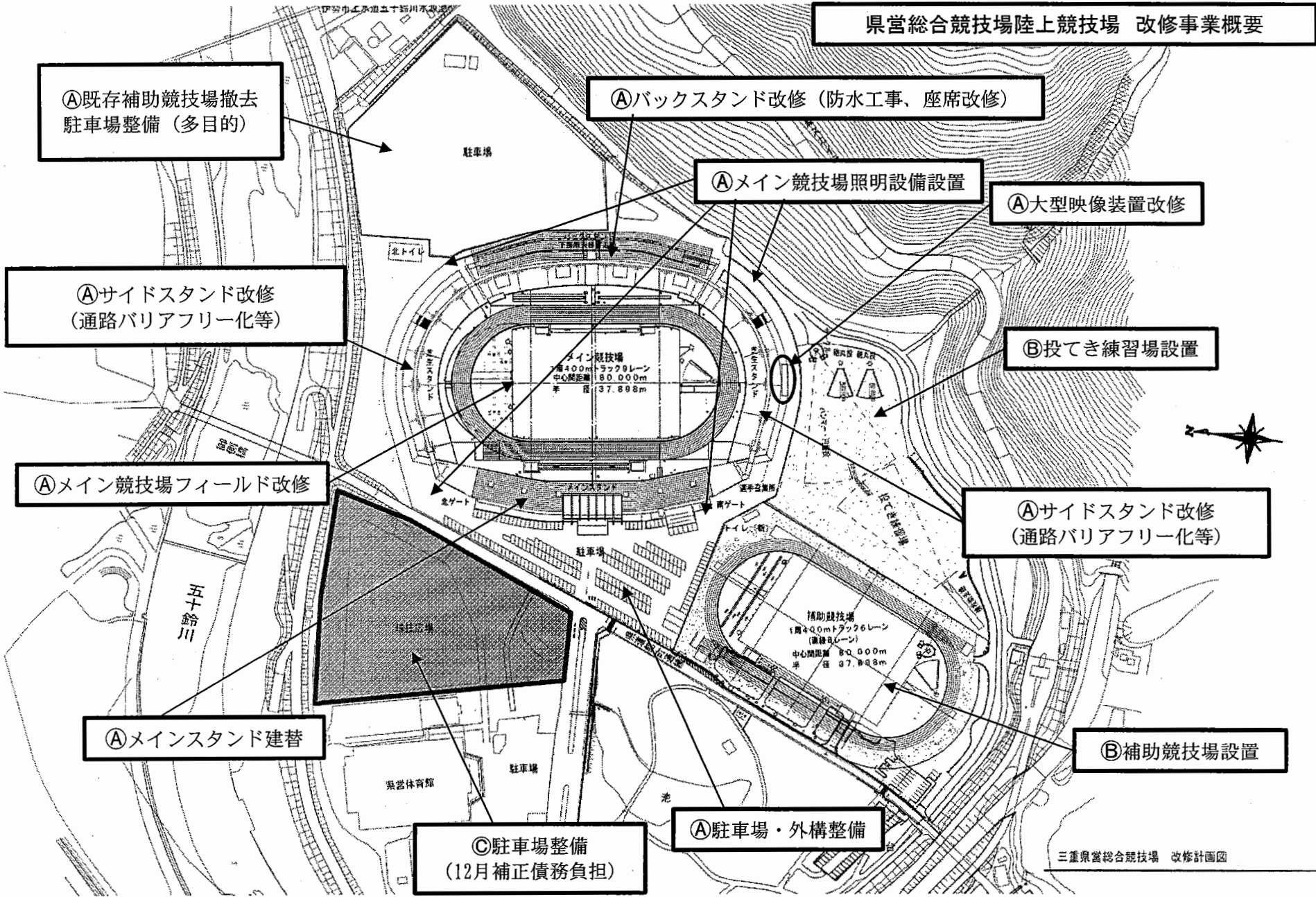
なお、指定管理者による管理については、条例改正後も本指定管理期間中（平成30年度まで）、その管理を継続できるよう、三重県都市公園条例改正案の中で、経過措置を規定しています。

今後は、国有地、市有地の無償貸付を受けるための契約準備など、移管に必要な事務手続きを進めてまいります。

4 県営総合競技場陸上競技場改修スケジュール

項目 \ 年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
・メイン競技場 ・駐車場【多目的】(現補助競技場)・外構 ※次ページ(参考図)①	・基本設計 ・実施設計	・計画通知 ・解体工事 ・工事積算 ・入札公告	・工事	
・補助競技場 ※次ページ(参考図)②	・実施設計 ・測量 ・工事積算 ・入札公告	・工事		
・駐車場(現球技広場) ※次ページ(参考図)③	・実施設計 ・工事積算 ・入札公告	・工事		

県営総合競技場陸上競技場 改修事業概要



①既存補助競技場撤去
駐車場整備 (多目的)

①バックスタンド改修 (防水工事、座席改修)

①メイン競技場照明設備設置

①大型映像装置改修

①サイドスタンド改修
(通路バリアフリー化等)

②投てき練習場設置

①メイン競技場フィールド改修

①サイドスタンド改修
(通路バリアフリー化等)

①メインスタンド建替

②補助競技場設置

③駐車場整備
(12月補正債務負担)

①駐車場・外構整備

三重県営総合競技場 改修計画図

6 南部地域活性化プログラムの取組状況及び 熊野古道世界遺産登録10周年事業について

1 現状と課題

県南部地域の活性化に向けては、「南部地域活性化プログラム（以下「プログラム」という。）」に基づき、若者の雇用の場の確保と定住促進に向けた取組や東紀州地域の観光・産業振興などの取組を進めるとともに、総合的・横断的な事業推進を図っています。

このため、南部地域活性化推進協議会において各種取組の進捗状況の共有や事業化の検討・協議を行うとともに、市町等と連携した課題の解決や活性化に向けた取組を進めています。

2 取組状況について

(1) 若者の雇用の場の確保と定住促進について

① 三重県南部地域活性化基金の活用

「三重県南部地域活性化基金（以下「基金」という。）」を活用し、平成26年度は「田舎暮らし体験事業」や「幹線道路を活用した誘客促進事業」など、複数市町の取組等を支援しています。基金を活用した事業の詳細については、別紙のとおりです。

② 移住交流の取組

市町と連携し、移住者の受入体制の充実を図るとともに、市町における空き家バンクや田舎暮らし情報をホームページやメールマガジンにより発信しています。

ホームページの閲覧数は、当初 3,000 件/月程度でしたが、現在では 10,000 件/月に増加しており、メールマガジンも月に 1 回発行しています。

空き家バンクも本年度に志摩市と尾鷲市が新たに取組を開始しました。

また、三大都市圏において、他県とも連携して移住に向けた情報発信等を行っています。

ア 大阪「ええとこやんか三重移住相談会」

9月13日に、シティプラザ大阪において相談会を開催したところ、11組（15名）の相談を受け付けました。

イ 東京

9月21日に、東京国際フォーラムにおいて開催された「ふるさと回帰フェア2014」に出展したところ、13組（15名）の相談を受け付けました。

11月15日に、三重テラスにおいて岐阜県と合同で移住相談会を開催したところ、11組（17名）の相談を受け付けました。平成27年2月8日

にも三重県単独で開催します。

ウ 名古屋「岐阜と三重の合同移住相談会」

12月10日と平成27年1月10日に、岐阜県と連携して合同相談会を名古屋において開催します。

③ 集落支援のモデル的な取組

南部地域では、集落機能が弱くなっている地域が増えていることから、モデル地域を選定し、市町・大学と連携して集落機能を維持するための取組を進めています。

三重大学と連携して南伊勢町礪浦（さざらうら）、紀北町島勝浦、御浜町神木（こうのぎ）、紀宝町浅里で話し合いを進め、各地域で住民が主体となって、特産品の販売や郷土料理を学ぶ女子会などの取組が進められています。

四日市大学と連携して取り組む鳥羽市鳥羽1～2丁目で、11月15日～16日にフィールドワークや話し合いを実施しました。

(2) 東紀州地域の観光・産業振興等の取組について

① 東紀州地域振興公社、熊野古道センター及び紀南中核的交流施設を活用した取組

地域と一体となって、観光振興、産業振興等の取組を総合的に進めることで、地域活性化につなげます。

ア 東紀州地域振興公社

東紀州地域振興公社では、観光振興、産業振興などの取組を総合的に推進する地域のコーディネーターとしての役割を果たすとともに、熊野古道伊勢路の保全と活用を推進します。

観光振興や産業振興では名古屋市での南三重観光物産展、四日市市でのリーディング産業展、岸和田サービスエリアでの観光PRや堺市のイオンでの三重県フェアなどに出展するなど魅力の発信及び商談会等への出展支援、大都市圏での物産展等への出展を行っています。

イ 熊野古道センター

熊野古道や古道周辺地域の自然・歴史・文化を体感するビジターセンターとして、その魅力を案内する企画展「シリーズ熊野のお祭り 木本まつり」、特別展「能面展—同時展示：陶製万華鏡」の開催、実施するなど、情報収集、情報発信、集客交流の充実に取り組んでいます。（来館者数対前年同期比（4～10月）26.2%増）

ウ 紀南中核的交流施設

高速全通記念特別プランやオープン5周年記念&世界遺産登録10周年記念プランなどの魅力的な宿泊プランの設定、熊野古道体験ツアー等地域

資源を活用した体験プログラムの実施など、集客交流の充実に取り組んでいます。今後も施設の魅力を高めるとともに、地域との連携を深め、活性化に向けて取り組みます。(宿泊者数対前年同期比(4~10月)14.2%増)

② 熊野古道世界遺産登録10周年事業

世界遺産登録10周年という情報発信の機会を逃すことの無いように熊野古道伊勢路を「幸結びの路」と名付け、集中的にPRするとともに、関連部局、市町、地域と一体となったさまざまな事業を実施することで、伊勢路の注目度を高め、誘客促進につなげることで地域での賑わいの創出を図っています。

また、熊野古道サポーターズクラブを立ち上げ、古道の価値を次世代に伝えていくための体制づくりなどに取り組んできました。10周年を契機として、古道の保全意識やホスピタリティの向上を図り、地域の人々が地域に愛着を持ち、主体的に活性化に取り組むことにつなげます。

ア 県主体事業

- ・熊野古道セミナー(4~6月 参加者168人)
- ・「熊野古道伊勢路図絵」の発行(6月)
- ・峠設置の道標の更新(6月)
- ・熊野古道伊勢路170km踏破キャラバン
(6月21日~30日 よしもと芸人カツラギ)
- ・10周年記念オープニングイベント
(7月6日 10周年記念式典、食の幸フェスタ 参加者3,104人)
- ・熊野古道伊勢路踏破ウォーク(6月~11月で計14回)
- ・10周年記念谷村新司トーク&ライブ(11月1日 参加者713人)
- ・10周年記念「幸結びの路」フェスタ(12月13日)
- ・熊野古道サポーターズクラブの組織化(11月末会員数 705人)
11月以降に保存会と連携し会員向けの保全体験を開催(3回予定)
- ・熊野古道まちなか案内所の拡大
- ・伊勢から熊野古道へのタクシープランの提供

イ 市町連携事業

- ・伊勢から熊野へ ~熊野古道伊勢路魅力発信事業~(基金事業)
- ・熊野古道世界遺産登録10周年キャンペーン事業(基金事業)

ウ 連携イベント

- ・三県連携(「吉野、高野、熊野の国」事業)
- ・企業連携
(三重交通株式会社:熊野古道伊勢路ウォーキングバスツアー)
(東海旅客鉄道株式会社:さわやかウォーキング)

(中日本高速道路株式会社：

「\速旅／実はそれ、ぜんぶ三重なんです！」ドライブプラン)

- ・関係部局等（三重県観光キャンペーン、三重県フェア
「美し国おこし・三重」、三重県総合博物館など）

さまざまな10周年に関する事業を展開することで、熊野古道語り部による案内者数は、前年を上回っていることから（1～10月の対前年同期比 57.5%増）、熊野古道入込客数も大幅に増えるものと予想しています。引き続き10周年事業の成功に向けて取り組むことで、地域活性化につなげてまいります。

(3) 総合的・横断的な事業推進について

引き続き、南部地域の市町が抱える課題等について庁内で情報共有を図り、関係部局の施策や基金を有効に活用するとともに、地方創生にかかる国の動きを注視し、活性化に向けた取組の充実に資するものを取り入れていきます。また、これらの情報は適切に市町に提供していきます。

平成26年度 南部地域活性化基金の活用状況について

別紙

事業名	関係市町等	取組概要 (平成26年11月現在)	予算額 (千円)
<p>第一次産業の担い手確保対策事業</p>	<p>紀南農業・農村担い手対策事業 熊野市 御浜町 紀宝町 JA三重南紀</p>	<p>柑橘農家の担い手を確保するため、「三重南紀元気なみかんの里創生プロジェクト協議会」が実施する就業希望者向けの基盤整備や情報発信等に対し支援を行う。</p> <p>①定住促進に向けた基盤整備 ・住居の整備(研修用の住居の整備) ・遊休農地等を活用した研修ほ場の整備(優良品種園の確保)、収益向上対策として、マルドリ栽培への取組を支援。</p> <p>②就業希望者に向けた就農フェア等での情報発信 6/14(6名来場)、7/12(3名来場)、9/20(3名来場)、10/4(6名来場)、12/10、H27 2/7</p> <p>③就業希望者と研修受入農家及び産地とのマッチングを図るための農業体験や先輩就農者との懇談、相談会の実施(6/28実施)3名参加、(7/24実施)1名参加、(11月)3名参加</p> <p>【平成25年度実績】 ・短期研修1名受入れ。長期研修に移行 ・「三重県農林漁業就業・就職フェア」出展(三重県総合文化センター)、 「新農業人フェア」出展(大阪)、「岐阜・三重合同移住相談会」出展(名古屋)、「新農業人フェア」出展(名古屋)、「三重県農林漁業就業・就職フェア」出展(三重県総合文化センター) ・1名のUターン者が長期研修を経て新規に就農(H25年6月)。</p>	<p>900</p>
<p>移住交流推進事業</p>	<p>田舎暮らし体験事業 熊野市 大紀町 紀北町</p>	<p>地域への移住を促進するため、熊野市・大紀町・紀北町が実施する田舎暮らし体験ツアーに対し支援を行う。</p> <p>①共通取組 ・田舎暮らし体験ツアーPRチラシ 7月末作成</p> <p>②個別取組 ・大紀町 7/26～27:大紀町田舎暮らし体験ツアー 20名参加 ・熊野市 10/11～12「熊野の里・農業体験」3名参加 ・紀北町 9/20～21「紀北でのんびり田舎体験～土地を知るにはまずは“食”から～」5名参加 11/24～25「紀北町ほっこり田舎体験ツアー～あなたが決める紀北町体験～」7名参加</p> <p>【平成25年度実績】 ・「大紀町田舎暮らし体験ツアー～まるごと錦!!～」 ・「紀北町でのんびりおいしい田舎体験」 ・「紀北体験ツアー～心とカラダが癒される食からハジメル紀北町～」 ・「モニターツアー～熊野の山・林業体験～」 ・「モニターツアー～熊野の里・農業体験～」</p>	<p>555</p>

平成26年度 南部地域活性化基金の活用状況について

別紙

事業名	関係市町等	取組概要 (平成26年11月現在)	予算額 (千円)
<p>幹線道路を活用した誘客促進事業</p> <p>サニーロードを活用した誘客促進事業</p>	<p>玉城町 度会町 南伊勢町</p>	<p>平成25年の式年遷宮、平成26年の熊野古道世界遺産登録10周年を観光面の好機と捉え、サニーロードを活用した誘客促進を図るため、玉城町・度会町・南伊勢町が連携して行うサニーロード周辺の魅力発信や広域的な周遊を提案する取組に対し支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サニーロード沿道マップ・ノベルティの作成 ・スタンプ・クーポンイベント展開 ・情報発信拠点「城(ぐすく)」(玉城ICすぐ)へのPR看板設置 ・高速SA(御在所、安濃、土山)、おはらい町、城(ぐすく)等でのマップ配布 ・雑誌・インターネット広告 ・3町合同による物産市「サニー市」開催予定 <ul style="list-style-type: none"> 11/15・16 玉城町会場 約23,000人 12/21 南伊勢町会場、1/25 度会町会場 ・3大都市圏でのキャラバン活動 <ul style="list-style-type: none"> 7/18～21 三重テラスでPR(約1,000人來場) 9/21・22 刈谷ハイウェイオアシスでPR(約800人が抽選会参加) 11/1～4 イオンモール堺北花田での三重県フェアに出展(約900人が抽選会参加) <p>【平成25年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城(ぐすく)に観光案内コーナー等を整備 ・サニーロード沿道マップ・ノベルティの作成 ・高速SA(土山、御在所、安濃)、城(ぐすく)等でマップ配布 ・サニーロード周知のための表示板設置(7箇所) ・「サニー市」を各町で開催 <p>★城(ぐすく)の25年度の来客数は対前年比で約4割増となっている。</p> <p>★サニー市の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12/15南伊勢町会場…来場者数は約3,000人 ・1/19 南伊勢町会場… " 約1,500人 ・2/22 玉城町会場 … " 約15,000人(熊野古道写真展も実施) ・3/9 度会町会場 … " 約3,000人 	<p>8,346</p>
<p>幹線道路を活用した誘客促進事業</p> <p>R42号沿道の誘客促進事業</p>	<p>大台町 大紀町 紀北町</p>	<p>高速道路の整備が進む中、平成25年の式年遷宮、平成26年の熊野古道世界遺産登録10周年を観光面の好機と捉え、多くの観光客が高速道路を降りてR42号周辺を周遊することをめざし、大台町・大紀町・紀北町が連携してR42号沿道の魅力を広く発信する取組に対し支援を行う。</p> <p>①共通取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『東海ウォーカー』とのコラボによる3町の総合観光情報誌『東海ウォーカー 大台町・大紀町・紀北町 特別号』を作成、7月30日から配布開始 ・高速SA(土山、御在所下り、安濃下り)や道の駅等で『東海ウォーカー 特別号』を配布。 ・FM三重にて3町の観光情報発信番組「大台、大紀、紀北の旬感通信」開始。(毎週木曜朝8:25～) <p>②個別取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信拠点の整備 ・R42号魅力発信マップ(各町別版)の作成 <p>【平成25年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月～:季節ごとに3町の情報誌「旬感通信」を作成し、高速SA(土山、御在所、安濃)や道の駅等で配布するとともに、各町の広報誌に折込 	<p>7,189</p>

平成26年度 南部地域活性化基金の活用状況について

別紙

事業名	関係市町等	取組概要 (平成26年11月現在)	予算額 (千円)
熊野古道世界遺産登録10周年関係	伊勢から熊野へ～熊野古道伊勢路魅力発信事業	<p>熊野古道が世界遺産として認められた価値の本質が伊勢から熊野までのすべての道程(約170km)にあることを踏まえ、世界遺産登録10周年の好機に、伊勢路沿線の5市町が連携して、伊勢からはじまる「熊野古道伊勢路」の魅力発信やおもてなし環境の整備に係る取組に対し支援を行う。</p> <p>①共通取組:「熊野古道伊勢路」魅力発信ツールの作成 ・デザインを統一した「のぼり」の作成・設置 ・熊野古道伊勢路沿線のグルメ・宿泊・お土産マップの作成 ・熊野古道世界遺産登録10周年記念事業(5市町で実施)PRチラシ等の作成</p> <p>②個別取組:各市町で実施するリレーイベント ・熊野古道世界遺産登録10周年記念事業の実施 【伊勢市】 お伊勢参りフォーラム～お伊勢参りと熊野詣～ 7/26 115名参加 【玉城町】 熊野古道出立の地めぐり旅(11イベント) 【多気町】 熊野古道伊勢路体感ウォーク 10/11 42名参加 【大台町】 大台町の歴史街道の今昔散策 10/18 28名、10/19 22名参加 【大紀町】 大紀町熊野古道ウォーク(三瀬坂峠～瀧原宮) 10/18 45名参加</p>	6,093
熊野古道世界遺産登録10周年関係	熊野古道世界遺産登録10周年キャンペーン事業	<p>高速道路の延伸や平成26年の熊野古道世界遺産登録10周年を観光面の絶好の機会と捉え、地域への誘客を図るため、東紀州地域の5市町が連携して実施する地域資源を生かした情報発信に対し支援を行う。</p> <p>[事業内容] ・ガイドブック作成、ホームページ作成、ポスター作成、企業タイアップ、PRグッズ作成、SA・PA等でのPR ・イオンモール東員、埼玉越谷イオンレイクタウン、イオンモール堺北花田にてPR ・26年度版ガイドブック作成、各観光物産展等で配布開始 ・ポスター随時掲出(道の駅、自治体、旅行会社、SA・PA等) ・三重テラスにて観光展開催(6/30～7/10 965人) ・旅行雑誌「東海じゃらん8月号」P2～4特集記事 ・岐阜駅ビルにて観光展開催(8/22～25) ・明治村にて観光展開催(11/23～24) ・その他商業施設にて観光PR</p> <p><実施時期等調整中> ・ホームページにイベント情報などを随時アップ ・「じゃらんweb」、「熊野古道特集ページ」特集展開</p> <p>【平成25年度実績】 ・宿泊事業者等を対象に10周年に向けた魅力アップセミナー及び宿泊予約サイト活用説明会を開催 ・10周年キャンペーンのロゴマーク、キャッチコピー「幸結びの路」を公表。同時に、これらを使用したポスター、ガイドブックダイジェスト版、のぼりを公表。予告版HPを立ち上げ。 ・高速SA等にて、のぼり設置、ガイドブックダイジェスト版の配布によるPR(新名神土山SA、北陸道賤ヶ岳SA、東名阪亀山PA・大山田PA、名阪関ドライブイン、名阪上野ドライブイン) ・観光展等でのPR、駅周辺でのミニキャンペーン</p>	8,000

平成26年度 南部地域活性化基金の活用状況について

別紙

事業名	関係市町等	取組概要 (平成26年11月現在)	予算額 (千円)
子どもの地域学習推進事業	高校生地域人材育成事業	<p>次代の地域を担う人材を育成するため、昴学園高等学校(大台町)・南伊勢高等学校(南伊勢町)・尾鷲高等学校(尾鷲市)において、慶應義塾大学の飯盛(いさがい)研究室の高校生人材育成プログラムである「まちばな」を取り入れ、大学生等のディスカッションリードにより、高校生が地域との関わり方などについて自ら考え行動する力を育む教育の取組に対し支援を行う。</p> <p>【授業予定日】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昴学園高等学校 11/18,12/8~12/11 ・南伊勢高等学校 12/16・17 ・尾鷲高等学校 11/13,1/5 <p>【平成25年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昴学園高等学校で授業実施(計3回) ・南伊勢高等学校で授業実施(計2回) 	1,300
	小学生地域魅力発見事業	<p>次代の地域を担う人材を育成するため、七保小学校(大紀町)・宮川小学校(大台町)の総合学習において、地域の魅力を伝え(地域の自然などの宝物さがし等)、地域への愛着心を育む教育の取組に対し支援を行う。</p> <p>※七保小学校の総合学習「七保の宝物さがし」</p> <p>大紀町では、平成21年度から七保小学校の3・4年生を対象に、NPO法人アサザ基金(茨城県)代表の飯島博氏を講師に迎え(年間5~7回の出前授業)、「七保の宝物さがし」と題した総合的な学習に取り組んできた。地域の自然の中にある宝物を発見する目を育てることで、「豊かな心」「考える力」「思いやり」「自ら学ぶ力」「自然を愛する心」などの力を育むことを目的としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・七保小学校 5月~2月までに計7回の授業を予定 第1回 5/9、第2回 6/16 第3回 9/9 第4回 10/10 第5回 11/25 第6回 1/16、第7回 2/12 ・児童の有志でつくるプロジェクト「七保未来塾」を計4回実施予定 第1回 5/10 第2回 6/15 第3回 9/28 第4回 10/11 ・宮川小学校 6月~2月までに計7回の授業を予定 第1回 6/16、第2回 7/3 第3回 9/29 第4回 10/10 第5回 11/25 第6回 1/16 第7回 2/12 <p>【平成25年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・七保小学校で授業実施(計7回) ・宮川小学校で授業実施(計3回) <p>※七保小学校では地元の湧水のペットボトル化に取り組んだ。</p>	933
企業立地セミナー開催事業	伊勢市 鳥羽市 志摩市 玉城町 度会町 南伊勢町	<p>伊勢志摩地域への企業誘致を促進するため、伊勢志摩地域産業活性化協議会が実施する大阪での企業立地セミナーの開催に対し支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪で平成27年2月3日に実施予定。 「伊勢志摩地域企業連携セミナー in 関西」 場所: 帝国ホテル大阪 <p>【平成25年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8/21:「伊勢志摩地域企業連携セミナー in 関西」開催 場所: 帝国ホテル大阪 出席者:163名 	2,235

平成26年度 南部地域活性化基金の活用状況について

別紙

事業名	関係市町等	取組概要 (平成26年11月現在)	予算額 (千円)
出逢い・結婚支援事業	熊野市 大台町 玉城町 南伊勢町 紀宝町、 (H26～) 尾鷲市 紀北町	<p>少子化対策や定住促進の観点から、市町等が実施する事業に対し支援等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施予定 紀宝町(9/28 48名参加)、熊野市(10/25 59名参加)、玉城町(11/15 80名参加)、大台町(11/29) ・6/24に担当者会議を開催し、各事業の実施にあたり、参加者募集等の協力を進めた。11/19に担当者会議を開催し、実施状況の情報共有を図り、来年度に向けて話し合いを実施。 <p>【平成25年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紀宝町「出会い交流イベント“BBQ婚活”」 ・大台町「夏祭り婚活」 ・鳥羽市「鳥羽出逢い応援事業」 ・玉城町「街コン『ピービビパーティー2013』」 ・熊野市「婚活パーティー」 ・南伊勢町「伊勢志摩出逢い旅」 ・紀宝町「恋の花咲け！桜色のバーベキューパーティー」 	2,000
人材育成推進事業	13市町の行政職員等	<p>集落の維持・再生など地域住民の主体的な取組をサポートする人材を育成するため、市町職員や地域おこし協力隊等を対象にディスカッションリーダー育成講座を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師は昨年度と同様とし、第1回は10/24に開催、1月までに計7回を実施予定 ・昨年度の受講生もアドバイザーとして参加を予定 <p>【平成25年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ディスカッションリーダー育成講座(計7回) ・講師：慶應義塾大学 飯盛准教授、SFC研究所 横瀬上席研究員 ・受講者は市町職員、地域おこし協力隊等11名 ・全7回開催、最終報告会も開催 	793
南部未来塾	13市町の30代～40代の行政職員 三重大学の若手・中堅教員	<p>長期にわたり継続して南部地域の活性化を図るため、近い将来市町の行政運営の核となる30代から40代の市町職員と若手・中堅の大学教員がともに南部地域の将来像について自由に議論することを通じて新たな発想を生み出し、南部地域活性化への気運を醸成するとともに、参加者同士のネットワークづくりを図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催予定日：5月～10月まで月1回、全6回で講義及びテーマに応じた意見交換を行い、最終報告会を10/17に実施、知事にも発表を行った。 <p>講師：西村教授、坂本教授 受講者：南部地域の市町職員13名、三重大学の若手・中堅教員4名</p>	
地域資源を活用した雇用創出事業	南部地域の事業者 (公募により事業者を決定)	<p>新たな雇用の創出や地域経済の活性化を図るため、地域資源を活用して新しい事業展開や事業拡大を行う事業者に対し補助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業形態：補助金(補助率：1/2) ・補助対象：県南部地域における民間企業、NPO法人等※起業後20年未満。 ・対象経費：新規雇用に係る直接人件費及び当該取組に係る事業費 ・事業期間：2年間(予定) ・雇用総数：5人 ※2社採択 ①一般社団法人 Pure Mrine(尾鷲市) ②川口商店(熊野市) <p>【平成25年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①丸勢水産(有)(志摩市) ②(有)小川耕太郎百合子社(尾鷲市) ③熊野漁業協同組合(熊野市) 	9,500

平成26年度 南部地域活性化基金の活用状況について

別紙

事業名	関係市町等	取組概要 (平成26年11月現在)	予算額 (千円)
地域の企業と大学生マッチング支援事業	尾鷲市 紀北町	<p>若者の地域産業への理解を深めるとともに就職へとつなげるため、大学生を対象に地域内で操業する中小企業等の現場を訪問し、経営者等の話を聞く場を提供する取組に対し支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象: 三重大学及び立命館大学の学生40人程度 ・時期: 2/17～18に1泊2日で実施予定。 	675
集落支援モデルの構築事業	南伊勢町 紀北町 御浜町 紀宝町	<p>集落機能を維持するため、町・三重大学地域戦略センターと連携し、モデル地域において集落が抱える課題に対する地域住民の主体的な取組を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南伊勢町礪浦地域 学生と住民との話し合いを経て、「ウォークラリー」(10/4 21名参加)と「もちつきとタイムカプセル開封式」(11/2 80名参加)を実施した。 ・紀北町島勝浦地域 学生と住民との話し合いを経て、和具の浜の「海の家」で干物を8/24に販売(100セット)、案内看板を作成した。9/15に販売の振り返りと魚見小屋までの登山道整備について話し合い、10/25には登山道に設置する道標の検討と草刈りを行った。 ・御浜町神木地域 女性の意見も反映させるため、「女子会」を9/14に実施(17名参加)。「女子会」で出された提案をもとに、10/2に郷土料理を学ぶ女子会(9名参加)を実施した。 ・紀宝町浅里地域 学生と住民の話し合いを経て、9/23に飛雪米販売、11月にオリジナル体操(浅里体操)を試行、1月以降になれずし食べ比べイベントを開催予定。 	6,383
	鳥羽市	<p>鳥羽市・四日市大学(岩崎副学長、小林教授)と連携し、モデル地域である鳥羽1丁目～2丁目において地域が抱える課題に対する地域住民の主体的な取組を支援する。</p> <p>9/28に打ち合わせを実施し、11/15～16に合宿を実施。</p>	

7 審議会等の審議状況について
(平成26年9月16日～平成26年11月20日)

1 審議会等の名称	三重県立熊野古道センター指定管理者選定委員会
2 開催年月日	平成26年9月26日(第2回)
3 委員	委員長 櫻井 治男 委員長代理 安井 広伸 委員 岸 葉子 他2名
4 諮問事項	三重県立熊野古道センターにおける指定管理候補者選定にかかるヒアリング審査について
5 調査審議結果	申請者から事業計画の概要等について説明を受け、質疑応答が行われました。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県立熊野古道センター指定管理者選定委員会
2 開催年月日	平成26年10月10日(第3回)
3 委員	委員長 櫻井 治男 委員長代理 安井 広伸 委員 岸 葉子 他2名
4 諮問事項	三重県立熊野古道センターにおける指定管理候補者選定にかかる最終審査について
5 調査審議結果	三重県立熊野古道センターにおける指定管理候補者について、答申がされました。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県固定資産評価審議会
2 開催年月日	平成26年11月17日
3 委員	会長 中西 光男 委員 安田 千代 他7名
4 諮問事項	平成27年度の固定資産（土地）に係る基準地価格について
5 調査審議結果	原案について承認を得ました。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県スポーツ推進審議会
2 開催年月日	平成26年11月20日
3 委員	会長 鶴原 清志 副会長 馬瀬 隆彦 委員 岩谷 敏史 他11名
4 諮問事項	「三重県スポーツ推進計画（仮称）」について
5 調査審議結果	「三重県スポーツ推進計画（仮称）」中間案についてご意見を頂きました。
6 備考	次回開催日：平成27年2月頃に予定。